

## 創世記 1-50 人間の創生

今日は創世記全体を見ていきたいと思います。2020年から2022年にかけて創世記を取り上げましたが、一度の説教でそのすべてをカバーすることは不可能です。今回の説教は、創世記をある程度知っておられることを前提としていますので、まだ創世記を読んだことがないという方は、ぜひ創世記を通読していただければと思います。創世記を理解できなければ、出エジプト記も理解できません。創世記は始まりの書です。世界の始まりであり、罪の始まりであり、一番重要なことは神の救いのご計画の始まりでもあります。その救いのご計画は、創世記に起源があり、出エジプト記で国家として確立した民を通してもたらされます。創世記は、旧約聖書を通して語り継がれるイスラエルの民の始まりについて示してくれるだけでなく、神がみ言葉の中に啓示される他のすべてのものの土台であります。最も重要なのは、神がどのような方であり、私たちを愛し、贖うこと、また私たちとご自分との関係を回復させたいと願っておられるということを創世記が明らかにしているということです。ですから、み言葉全体に言えることですが、創世記の中に記されている神と出会うことで、私たちを礼拝へと導くことにつながります。それは重要なことです。なぜなら、出エジプト記には、神がどのように礼拝されることを期待されているのかについて多くの詳細が記されているからです。

特定の民族の始まりに注目する一方で、創世記は最初の人間と宇宙の創造から始まります。創世記の最初の一節、聖書全体の初めである創世記 1:1 には「はじめに神が天と地を創造された。」とあります。この最初の言葉から、神が最初の週にすべての生命を創造されたことを見ます。この最初の週に確立された働きと安息のパターン、そして創造の御業の中に見られる神の主権と権威は、命令によって確立され、出エジプト記に入ると、イスラエルの民の生活の中に見ることができます。創造の物語の中で中心となるのは、6 日目の人の創造です。創世記 1:27 には「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」とあります。最初の二人の人であったアダムとエバなくしては神の民は存在しません。この二人の人の創造によって、私たちの存在の基本となる部分が確立されました。まず、結婚が確立されました。創世記 2:24 は「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである」と言っています。このように神は結婚と家族を人間社会の基盤とされました。二つ目に、アダムとエバの創造は、性に関して核となる真理を示し、それが出エジプト記において道徳律の基礎となり、現代にも影響を与え続けています。

もともと、私たちは神の完全な似姿として創造されました。私たちは神ゆえに存在し、神から離れて存在することはできませんが、神に最も似た者でした。ですが、創世記には人類の始まりだけではなく、人類の根本的な問題である罪の始まりについても記されています。神は最初の人であったアダムとエバに一つの命令を与えました。それは善悪の知識の木からは取って食べてはならないという命令でした。すると蛇の姿をしたサタンが、あらゆる罪への誘惑と同じ誘惑をエバに投げかけました。創世記 3:1 にはこうあります。「蛇は女に言った。『園の木のどれからも食べてはならないと、神は本当に言われたのですか。』」サタンはエバが神のみ言葉の真理を疑うよう仕向けました。サタンは創世記 3:4-5 で、神が言われたことに反して、エバに言います。「あなたがたは決して死にません。5 それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。」エバもアダムも誘惑に負けて罪を犯してしまいます。人類の代表であるアダムが犯したその罪のため、彼の子孫である全人類が罪の性質を受け継いでいます。このことはローマ 5:12 に明確に示されています。「12 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——」そしてその罪のため、すべての人が体験する死の始まりを創世記は示しています。

聖書の冒頭、旧約聖書が最も焦点を当てている神の民について触れる前に、天地創造と並んで神の主権とその神に対する私たちの責任を示す二つの重要な出来事を見ます。一つ目は世界規模の大洪水です。創世記 7:23-24 には、神が地に起こされたこの洪水の影響が記されています。「こ

うして、主は地の上の生けるものすべてを、人をはじめ、動物、這うもの、空の鳥に至るまで消し去られた。それらは地から消し去られ、ただノアと、彼とともに箱舟にいたものたちだけが残った。24 水は百五十日間、地の上に増し続けた。」ノアとその家族以外のすべてを滅ぼす大洪水はなぜ起こったのでしょうか。創世記 6:5、7 はこう言っています。「主は、地上に人の悪が増大し、その心に図ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。…7 そして主は言われた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜や這うもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらを造ったことを悔やむ。」もちろん、これで罪が終わったわけではありませんでした。創世記の最初の部分は、11 章のバベルの塔と、神に届くことができると考えた人間の傲慢さで終わります。神は、人間の反抗などご自分の主権の前では無に等しいことを示され、人々の言語を混乱させることによって、全地に満ちよというご自分の命令に人々を従わせました。こうして、創世記の最初の部分では、創造主である神がご自分の民の主権者でおられ、ご自分の栄光のためにご自分の似姿に創造された民は、神に対して責任を負うことが明らかにされています。

ですが、創世記に展開される神の物語にはもう一つの筋書きがあります。それは贖いに基づく希望の物語です。この贖いの物語こそが、聖書の残りの部分で展開されていく物語であり、なぜ神が特定の民を起こされたのかの根拠となるものです。聖書の全体的な主題、あるいは筋書きとは、創造、堕落、贖い、そして回復です。創世記には創造と堕落がすべて含まれていて、贖いの始まりを示し、回復を指し示しています。人が罪を犯した直後、神は罪に対する罰を与えられますが、罰を与えることによって罪深い被造物に最初の希望のしるしを示されました。創世記 3:15 では、蛇であるサタンに対する罰を約束される中で、神は私たちに希望の言葉を与えてくださいます。「わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」神は蛇を砕く者、つまり、私たちが最初に罪に堕ちるきっかけを作った者を打ち負かすことによって、人を罪から贖う方を遣わされます。この救い主、蛇を砕く者についての最初の預言には、重要な情報が含まれています。それは、救いをもたらす方は、サタンが欺いたエバの血筋を通して来られるということです。つまり、この救いをもたらす方は人であるということです。

そして、この救い主、蛇を打ち砕く者は特定の民の中に現れます。創世記にはその民の始まりが描かれていて、出エジプト記には神の民が一国家へと成長する物語が続きます。創世記 12 章からは、この救い主を送るために、神が選ばれた人物が登場します。**創世記 12:1-2 で最初に登場するアブラハム、あるいはアブラムは、神から一方的な契約を受けます。「主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。」**この土地、国家、祝福という3つの約束は、彼の息子イサクに、そして孫ヤコブに受け継がれ、やがてイエスを世に送り出す家族へと成長します。そして、神が彼らを用いて全世界を祝福すると約束されたことを、この家族は代々、信じ続けます。この家系を通してもたらされる祝福の約束は、その家族だけではなく、歴史が進む中で罪に深く囚われていく世にとっても希望の源であり続けます。その罪の増大は、アダムとエバの実の息子が最初の殺人を犯したことに看取することができます。アブラハムのひ孫たちは、弟ヨセフを奴隷として売り飛ばし、大量殺人、不道徳など多くの罪を犯します。人間がいかに罪深い存在であるかを示す物語の中に、神はアブラハムとその家族を通して、私たちの罪からの贖いの物語を記されます。それは、アブラハムの子孫であるイエス・キリストを通して、今も私たちに与えられている希望の物語です。

旧約聖書では、その贖いの物語はアブラハムという男から始まります。彼は偉大な国民となることを約束されましたが、子どもはいませんでした。妻の女奴隷との間にイシュマエルと名付けた子をもうけ、人間的なやり方でその約束を果たそうとしました。神はイシュマエルを祝福されましたが、彼は神の約束された息子ではありませんでした。やがて、アブラハムが100歳、サラ

が90歳の時にイサクが生まれます。創世記21:2、5はこう言っています。「サラは身ごもり、神がアブラハムに告げられたその時期に、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。…5 アブラハムは、その子イサクが彼に生まれたとき、百歳であった。」神が約束を守られて、イサクがやがて子どもをもうけ、大家族となり、救い主をもたらす民となると思った矢先、考えられないことが起こります。創世記22:1-2にはこうあります。「これらの出来事の後、神がアブラハムを試練にあわせられた。神が彼に「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は「はい、ここにおります」と答えた。2 神は仰せられた。「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そして、わたしがあなたに告げる一つの山の上で、彼を全焼のささげ物として献げなさい。」」この頃までには、アブラハムは神を信頼することを学び、このとても難しい、一見すると残酷で、神の約束と矛盾していると思われる命令に従えるまでになっていました。22:7-8にはこうあります。「イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」彼は「何だ。わが子よ」と答えた。イサクは尋ねた。「火と薪はありますが、全焼のささげ物にする羊は、どこにいるのですか。」8 アブラハムは答えた。「わが子よ、神ご自身が、全焼のささげ物の羊を備えてくださるのだ。」こうして二人は一緒に進んで行った。」そして22:10-13には、旧約聖書の中でおそらく最も美しい救いの姿が描かれています。「アブラハムは手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。11 そのとき、主の使いが天から彼に呼びかけられた。「アブラハム、アブラハム。」彼は答えた。「はい、ここにおります。」12 御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった。」13 アブラハムが目を上げて見ると、見よ、一匹の雄羊が角を藪に引っかけていた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の息子の代わりに、全焼のささげ物として献げた。」

私たちは、アブラハムの行動に救いへの道を見ます。創世記において重要な箇所である15:6には「アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。」とあります。アブラハムの神への信仰と信頼は義と認められました。これは、新約聖書に見られる罪に対する解決方法と同じです。エペソ人への手紙2:8-9は「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」と言っています。またイサクを捧げることに、私たちの代わりに犠牲の雄羊となられた、私たちの信仰と対照であるイエス・キリストの姿を見ます。ですが、救いはアブラハムの息子イサクの誕生と共にもたらされたわけではありません。事実、アブラハムとイエスの間には2000年もの歴史があり、イエスの祖先となる人々が全滅するようになるときが何度も訪れます。また、創世記の終わりでは、神がアブラハムを通して偉大な民とされようとする人々は、大家族程度でしかありませんでした。そこで神は、その家族が国家へと成長するよう、安全な場所へと導かれます。ですから、創世記はアブラハムのひ孫の一人であるヨセフに焦点を当てて終わるのです。ヨセフには11人の兄弟がいて、彼らから嫌われていました。創世記37:4には「ヨセフの兄たちは、父が兄弟たちのだれよりも彼を愛しているのを見て、彼を憎み、穏やかに話すことができなかった。」とあります。

結局、その兄弟たちはヨセフを奴隷として売り払い、ヨセフは死んだと父親に嘘をつきました。ヨセフはエジプトで奴隷となりましたが、驚くことにエジプトにいる間にも神はヨセフを祝福されました。主人であるポティファルの家で、ポティファルの妻が彼を誘惑しようとするまでの間、家の管理を任せられます。ですが、ヨセフは正しい男でしたので、ポティファルの妻を拒絶し、妻が夫にヨセフについて嘘をついたため、監獄に送られます。その監獄でも、彼の人格が認められ、特権を与えられます。そしてその監獄で、神の主権が働き始めるのを私たちは見ます。ヨセフは、パロの献酌官長と調理官長の二人の囚人の夢を解き明かしました。そして、その解き明かしのどちらもが現実となり、調理官長は処刑され、献酌官長は元の地位に戻されました。それから更に2年が過ぎ、パロの寵愛を受ける立場に戻った献酌官長は、自分が忘れていた牢獄で出会った男なら、パロが理解できない夢を解き明かすことができると告げます。創世記41:14-

16には次のようにあります。「ファラオは人を遣わして、ヨセフを呼び寄せた。人々は急いで彼を地下牢から連れ出した。ヨセフはひげを剃り、着替えをして、ファラオの前に出た。15 ファラオはヨセフに言った。「私は夢を見たが、それを解き明かす者がいない。おまえは夢を聞いて、それを解き明かすと聞いたのだが。」16 ヨセフはファラオに答えた。「私ではありません。神がファラオの繁栄を知らせてくださるのです。」ヨセフはパロの夢がこの地域で飢饉が起こることを予言していることを伝え、それに備えるための解決策を提案します。パロの応答が創世記41:39-40に記されています。「ファラオはヨセフに言った。「神がこれらすべてのことをおまえに知らされたからには、おまえのように、さとくて知恵のある者は、ほかにはいない。40 おまえが私の家を治めるがよい。私の民はみな、おまえの命令に従うであろう。私がまさっているのは王位だけだ。」」つまり、アブラハムのひ孫がエジプトでパロに次ぐ支配者となり、神に従ってアブラハムがやってきた地域に住む彼の家族が全滅しかねないほどの飢饉が来ると言うのです。ヨセフがそこにいたのは、人間的な視点から見れば、彼の兄弟たちがヨセフを追い払いたかったからなのですが、神の主権において、それよりもはるかに大きな目的がそこにはありました。創世記42:1-3にはこうあります。「ヤコブはエジプトに穀物があることを知って、息子たちに言った。「おまえたちは、なぜ互いに顔を見合わせているのか。」2 さらに言った。「今、私はエジプトに穀物があると聞いた。おまえたちは下って行って、そこから私たちのために穀物を買って来なさい。そうすれば、私たちは生き延び、死なずにすむだろう。」3 そこで、ヨセフの十人の兄弟は、穀物を買うためにエジプトに下って行った。」そして7節には「ヨセフは兄弟たちを見て、それと分かった」とあります。すべての出来事を語る時間はありませんが、最終的にヨセフは兄たちに自分が何者かを告げ、彼らと和解します。創世記45:15は「彼はまた、兄弟みなに口づけし、彼らを抱いて泣いた。それから兄弟たちは彼と語り合った。」と述べています。一家はエジプトに移り、創世記の終わりには、神がご自分の民をエジプトで死から守られるのを見ます。ヨセフは創世記の最後、50:19-20でこのことを言葉にしています。彼の報復を恐れる兄弟たちに、ヨセフは言います。「ヨセフは言った。「恐れることはありません。どうして、私が神の代わりになることができるでしょうか。20 あなたがたは私に悪を謀りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。」創世記が私たちに示していることが一つあるとすれば、それは神が主権者でおられるということです。天地創造から、神の民に救いを与えるイエスを世にもたらす民に関するご計画まで、神のなさることに偶然はありません。今年の残りの多くの時間をかけて学ぶことになる、イスラエルの民とエジプトからの脱出も偶然ではありません。みなさんの人生は進化や歴史の偶然ではありません。神にはご計画があります。人生に不幸がもたらされたように思う時があっても、神のご計画は私たちの益のため、神の似姿として造られた私たちを通して神の栄光が示されるためのご計画です。ですから、今日、あなたがイエス・キリストを知っておられるのは、アダム以来、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフからイエスに至るまで、神があなたを罪から救うご計画をお持ちだったからなのです。そしてもし、あなたがイエス・キリストを知っておられないのであれば、神はアブラハムのようにイエスを信じ、イエス・キリストによって義と認められる機会を今日与えてくださいます。祈りましょう。

## Genesis 1-50 The beginning of the people

Today, we are going to walk through the book of Genesis. Back in 2020-2022, we covered the whole book, so clearly it is impossible to do in one sermon. This sermon also assumes some knowledge of Genesis, so I would encourage you if this is all new to you, please go through and read Genesis. If you don't understand Genesis, Exodus will make no sense. Genesis is a book of beginnings. It's the beginning of the world, of sin and most importantly, God's plan for salvation. And that plan for salvation takes place through a people that has its beginning in the book of Genesis and its establishment as a nation in Exodus. Genesis not only gives us the foundation for the people of Israel whose story is continued throughout the Old Testament, but sets the foundation for everything else God reveals to us in His Word. Most importantly, it establishes who God is and declares his love for us and desire to redeem us and restore us to himself. So, as with all of Scripture, the end result of meeting God in the pages of Genesis is that it leads us to worship. This is important, because Exodus will give many details related to how God expects to be worshipped.

While our focus in Genesis will be the beginning of a specific people, Genesis begins with the creation of the first humans and the universe. The very first verse of Genesis and the entire Bible, **Genesis 1:1 tells us that "In the beginning God created the Heavens and the earth."** From that first statement, we see God creating all life in the course of the first week. The work, sabbath rest pattern established in this first week, and the sovereignty and authority of God that we see in Creation will be established by commands and seen in the life of the people of Israel as we come into the book of Exodus. The primary focal point of the creation narrative is the creation of humans on day six. **Genesis 1:27 says, So God created man in his own image, in the image of God he created him; male and female he created them.** There would be no people of God apart from the first two humans, Adam and Eve. This creation of the first two humans established certain foundational aspects of our existence. First, this established the marriage. **Genesis 2:24 says, 24 Therefore a man shall leave his father and his mother and hold fast to his wife, and they shall become one flesh.** So God placed marriage and family as the foundation of human society. Secondly, the creation of Adam and Eve declared core truth about gender and sexuality, which become the basis for moral laws in Exodus that are still relevant today.

Originally, we were created as perfect image bearers of God. We were the highest reflection of himself, although we owe our very existence to him, and could not exist apart from him. But, the book of Genesis not only shows the beginning of humanity, but also the beginning of humanity's foundational problem – sin. God had given Adam and Eve these first humans one rule – do not eat from the tree of knowledge of Good and Evil. Then Satan in the form of a serpent or snake tempted Eve with the same basic temptation that all temptation to sin really takes. In **Genesis 3:1 the serpent said to Eve, "Did God actually say, 'You shall not eat of any tree in the garden'?"** He caused her to question the truth of God's Word. He tells Eve in **Genesis 3:4-5, contrary to what God had said, "You will not surely die. 5 For God knows that when you eat of it your eyes will be opened, and you will be like God, knowing good and evil."** She and Adam both give into the temptation and sin. Adam as the Federal head or representative human from whom every human being will be born passes along a sinful nature to all of humanity because of that sin. **Romans 5:12 makes this very clear. 12 Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men because all sinned—** And because of that sin, Genesis shows us the beginning of death that also defines our human experience.

Right away in the beginning of the Bible and before we even get to the people of God that the Old Testament is most focused on, we see two key events that along with creation show

us God's sovereignty, and our accountability to God. The first is a world wide flood. **Genesis 7:23-24** describes the effects of this flood that God sent on the earth. **23 He blotted out every living thing that was on the face of the ground, man and animals and creeping things and birds of the heavens. They were blotted out from the earth. Only Noah was left, and those who were with him in the ark. 24 And the waters prevailed on the earth 150 days.** Why was this flood brought on the earth to destroy everyone except Noah and his family? **Genesis 6:5 and 7** tells us. **5 The Lord saw that the wickedness of man was great in the earth, and that every intention of the thoughts of his heart was only evil continually....7 So the Lord said, "I will blot out man whom I have created from the face of the land, man and animals and creeping things and birds of the heavens, for I am sorry that I have made them."** This of course did not end the sin. The first section of Genesis ends in Genesis 11 with the Tower of Babel and human pride that thinks it can reach God. God shows that human rebellion is nothing before his Sovereignty, and he forces them to obey his command to inhabit the whole earth by confusing their language. So, in the very first section of Genesis, it is clear that God as the Creator is Sovereign over his people, and the people he creates in his own image for his glory are accountable to him.

But there is another line in God's story that begins unfolding in Genesis. It is a story of hope, based on redemption. This thread of redemption is really what unfolds throughout the rest of scripture and sets the stage for why God will raise up a particular people. The entire metanarrative or storyline of the Bible is Creation Fall Redemption and Restoration. Genesis fully contains the Creation and Fall, shows us the beginning of Redemption and points to Restoration. Right after humans sinned, God confronts their sin with punishment, but in handing out punishment, he provides the first sign of hope for His sinful creatures. In **Genesis 3:15**, in promising to punish the serpent, Satan, God gives us these words of hope. **I will put enmity between you and the woman, and between your offspring and her offspring; he shall bruise your head, and you shall bruise his heel."** God would send a Snake Crusher, someone who would redeem mankind from sin by defeating the one who was instrumental in our fall into sin in the first place. There is a significant piece of information given to us in the initial prophecy of this Savior, this Snake Crusher. It is this – that the one who would provide the Salvation would come through the line of the woman Eve who Satan deceived. So, he would be a human being who would provide this salvation.

And this Savior, this snake-crusher would come into the world through a specific people. Genesis shows us the beginning of that people, and Exodus continues that story with the growth of the people of God into a legitimate nation. Starting with Genesis 12, we are introduced to the man who God chose to use to bring about this people from whom will come this Savior. Abraham or Abram receives a one-sided Covenant from God that we first see in **Genesis 12:1-2. Now the Lord said to Abram, "Go from your country and your kindred and your father's house to the land that I will show you. 2 And I will make of you a great nation, and I will bless you and make your name great, so that you will be a blessing.** This three part promise of land, nation and blessing is passed on to his son, Isaac and grandson Jacob as the family that eventually brings Jesus into the world grows. And each generation of this family continues to hold onto the promise that God will use them to bless the whole world. That promise of blessing that will come from their family line continues to be a source of hope not only to the family, but to a world that gets more deeply trapped in sin as history progresses. We see this sin increase as Adam and Eve's own son commits the first murder. Abraham's great grandsons sell their brother Joseph into slavery, commit mass murder, immorality and many other sins. And in the middle of a storyline that demonstrates how sinful human beings are, God is writing a story of redemption from our sin through Abraham and his family. It is a story of Hope that is still available for us today through

Abraham's descendant Jesus Christ.

For the Old Testament, that story of redemption begins with this man Abraham. He is promised to become a great nation, but he doesn't have any children. He even tries to fulfill the promise in a very human way by having a son with his wife's servant, who he names Ishmael. While God blesses Ishmael, that was not God's promised son, and eventually when Abraham is 100 years old and his wife Sara is 90, Isaac is born. **Genesis 21:2 and 5 says, <sup>2</sup>And Sarah conceived and bore Abraham a son in his old age at the time of which God had spoken to him... <sup>5</sup>Abraham was a hundred years old when his son Isaac was born to him.** Right when we think, okay God has kept his promise, now there is this son Isaac who can eventually have children and produce a big family and a people to bring a Savior, the unthinkable happens. **Genesis 22:1-2 says, After these things God tested Abraham and said to him, "Abraham!" And he said, "Here I am." <sup>2</sup>He said, "Take your son, your only son Isaac, whom you love, and go to the land of Moriah, and offer him there as a burnt offering on one of the mountains of which I shall tell you."** By this time, Abraham has learned to trust God and he obeys this very difficult and seemingly cruel and contradictory command to what he has been promised. So we read in **22:7-8, <sup>7</sup>And Isaac said to his father Abraham, "My father!" And he said, "Here I am, my son." He said, "Behold, the fire and the wood, but where is the lamb for a burnt offering?" <sup>8</sup>Abraham said, "God will provide for himself the lamb for a burnt offering, my son."** So they went both of them together. And then we get what is possibly the most beautiful picture of our salvation in the Old Testament in **22:10-13. <sup>10</sup>Then Abraham reached out his hand and took the knife to slaughter his son. <sup>11</sup>But the angel of the Lord called to him from heaven and said, "Abraham, Abraham!" And he said, "Here I am." <sup>12</sup>He said, "Do not lay your hand on the boy or do anything to him, for now I know that you fear God, seeing you have not withheld your son, your only son, from me." <sup>13</sup>And Abraham lifted up his eyes and looked, and behold, behind him was a ram, caught in a thicket by his horns. And Abraham went and took the ram and offered it up as a burnt offering instead of his son.**

So, in the actions of Abraham we see the path to salvation. **Genesis 15:6, the key verse of Genesis tells us, Abraham believed God and it was credited to him as righteousness.** Abraham's faith and trust in God is counted as righteousness. This is the same solution to sin we see in the New Testament. **Ephesians 2:8-9 says <sup>8</sup>For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, <sup>9</sup>not a result of works, so that no one may boast.** And in the offering of Isaac, we get a picture of the object of our faith, Jesus Christ, who becomes that ram sacrificed in our place. But that salvation does not come with the birth of Abraham's son, Isaac. In fact, there will be 2000 years of history between Abraham and Jesus, and there will be many times where it seems like these human ancestors of Jesus will be wiped out. In fact, as Genesis ends the people that God is raising up through Abraham is only the size of one extended family. So, God sovereignly directs that family into a safe place for them to grow into a nation. And that is why Genesis ends with a focus on one of Abraham's great-grandsons named Joseph. Joseph had 11 brothers total, and they hated him. **Genesis 37:4 says, But when his brothers saw that their father loved him more than all his brothers, they hated him and could not speak peacefully to him.**

Eventually, those brothers sold Joseph as a slave and lied to their father that he died. He ended up as a slave in Egypt, and amazingly God blesses him even while in Egypt. He is put in charge in his master Potiphar's house until Potiphar's wife tries to seduce him. But Joseph is a godly man who rejects Potiphar's wife and when she lies about him to her husband, he ends up in prison. But even in prison, he is promoted to a place of privilege and

recognized for his godly character. And it is in prison where we begin to see God's sovereignty at work. Joseph interprets the dreams for two fellow prisoners, the Pharaoh's chief baker and chief cupbearer. And both of those interpretations came true – the baker was executed and the cupbearer was restored to his position. And then another two years pass, and the cupbearer who now is back to his favored position with the Pharaoh is in a position to tell Pharaoh about the man he forgot in prison who can interpret a dream that Pharaoh cannot understand. Then we read in **Genesis 41:14-16, 14 Then Pharaoh sent and called Joseph, ....15 And Pharaoh said to Joseph, "I have had a dream, and there is no one who can interpret it. I have heard it said of you that when you hear a dream you can interpret it." 16 Joseph answered Pharaoh, "It is not in me; God will give Pharaoh a favorable answer."** Joseph explains that Pharaoh's dream foretells a coming famine in the region, and then proposes a solution to prepare for it. Pharaoh's response is then seen in **Genesis 41:39-40... Then Pharaoh said to Joseph, "Since God has shown you all this, there is none so discerning and wise as you are. 40 You shall be over my house, and all my people shall order themselves as you command. Only as regards the throne will I be greater than you."** So, you have this great grandson of Abraham as the second highest ruler in Egypt, and a coming famine that could wipe out Abraham's family who is living in the area where Abraham followed God to. He is there because from a human perspective, his brothers wanted to get rid of him, but God in his sovereignty has a far greater purpose in it. **Genesis 42:1-3 says, 42 When Jacob learned that there was grain for sale in Egypt, he said to his sons, "Why do you look at one another?" 2 And he said, "Behold, I have heard that there is grain for sale in Egypt. Go down and buy grain for us there, that we may live and not die." 3 So ten of Joseph's brothers went down to buy grain in Egypt.** Then we read in verse 7 of **Genesis 42... Joseph saw his brothers and recognized them.** There is no time to recount all the events, but eventually Joseph tells his brothers who he is and restoration happens. **Genesis 45:15 says, 15 And he kissed all his brothers and wept upon them. After that his brothers talked with him.** The family moves to Egypt, and as Genesis ends, we see the recognition of God's sovereignty in protecting his people from death in the land of Egypt. Joseph puts this into words in the final paragraphs of Genesis, **Genesis 50:19-20.** Joseph is responding to his brother's fears of retaliation by him and we read. **19 But Joseph said to them, "Do not fear, for am I in the place of God? 20 As for you, you meant evil against me, but God meant it for good, to bring it about that many people should be kept alive, as they are today.** If Genesis shows us one thing, it is that God is sovereign. From creation to his plan for a people to bring Jesus into the world who provides salvation to the people of God, nothing God does is by accident. The people of Israel and their escape or Exodus from Egypt that we will study about for much of the rest of the year is not by accident. Your life is not an accident of evolution or history. God has a plan, and it is a plan that even when life seems to bring evil, God's plan is for our good and for his glory to be displayed through us as his image bearers. So, today if you know Jesus Christ, it is because God had a plan since Adam through Abraham, Isaac, Jacob and Joseph all the way to Jesus to save you from your sin. And if you don't know him, today he offers to you the opportunity to like Abraham, believe in Jesus, and be counted as righteous through Jesus Christ. Let's pray.